

ニューエコノミーへの多様な道

——ドイツ・日本・アメリカ——

日時:2006年3月16日(木) 10:00~17:30

会場:千葉大学大学院 社会文化科学系総合研究棟 2階 マルチメディア会議室

プログラム

10:00~12:20

開会の辞と問題提起:雨宮昭彦(千葉大学教授)

「ニューエコノミーへのドイツの道——文化闘争」

W.アーベルスハウザー(ドイツ・ビーレフェルト大学教授)

※この基調講演はドイツ語で行われますが、日本語訳のペーパーが配布されます。

「生き方としてのニューエコノミー」

秋元英一(千葉大学教授)

13:40~17:30

「経済的自由主義と日本資本主義——展開と変容(仮)」

伊藤正直(東京大学教授)

「ニューエコノミーと持続可能性」

倉阪秀史(千葉大学教授)

コメント:水島治郎(千葉大学助教授)

総括と閉会の辞:広井良典(千葉大学教授、本COE拠点リーダー)

懇親会:18:00~20:00 千葉大学けやき会館コルザ

通訳:加藤浩平(専修大学教授)

※参加費:シンポジウム・懇親会ともに無料 ※事前申し込み不要

【主催・お問い合わせ先】千葉大学大学院社会文化科学研究科公共研究センター

TEL/FAX: 043-290-2337 E-mail: recpa@restaff.chiba-u.jp ホームページ: <http://www.shd.chiba-u.ac.jp/~coe21/>

【共催】戦時経済研究会

〈関連プロジェクト〉

「労働研究と公共性」コロキウム

日時:2006年3月5日(日) 13:00~17:00

会場:千葉大学社会文化科学系総合研究棟2階
マルチメディア会議室

「労働問題研究と公共性」
兵藤釦(東京大学名誉教授)

「労働研究の今日的課題」
野村正實(東北大学教授)

コメント:秋元英一(千葉大学教授)

【来聴歓迎】

事前申し込み不要、参加費無料

社会文化科学系総合研究棟



東京大学大学院経済学研究科・経済史研究会国際セミナー

1945年以降のドイツ経済——その制度的連続性

日時:2006年3月17日(金) 14:00~17:00

会場:東京大学本郷キャンパス 経済学研究科棟 第2教室(3階)

プログラム

報告:W.アーベルスハウザー

(ドイツ・ビーレフェルト大学教授)

1945年以降のドイツ経済——その制度的連続性

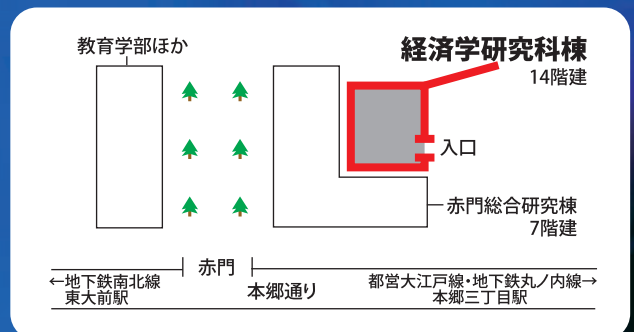
※講演はドイツ語で行われますが、日本語訳のペーパーが配布されます。

コメント:工藤章(東京大学教授)

司会:馬場哲(東京大学教授)

通訳:加藤浩平(専修大学教授)

※事前申し込み不要



【主催】東京大学大学院経済学研究科・経済史研究会 【共催】東京大学大学院経済学研究科・現代ヨーロッパ経済史教育プログラム(CHEESE)、社会経済史学会 関東部会

【お問い合わせ】馬場哲 sbaba@e.u-tokyo.ac.jp